


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、回復に向けた動きに一服感がみられる」









項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、回復に向けた動きに一服感がみられる	

（注）3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、食料品などが堅調であるものの、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるため、横ばいの状況となっている。生産活動は、海外での感染拡大の影響等により、自動車関連を中心に足下で減少しており、回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、弱い動きが続いている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響により、一部に弱さがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、回復している	足下で自動車関連を中心に減少しており、回復の動きに一服感がみられる	
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	
住宅建設	下げ止まりの動きがみられる	緩やかに持ち直しつつある	
公共事業	前年並みとなっている	前年を下回っている	
輸出	増加している	増加の動きに一服感がみられる	

【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が回復していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある」

スーパー販売は、内食需要により、主力の食料品を中心に堅調となっている。コンビニエンスストア販売は、オフィス街などにおける入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、衛生用品などが引き続き堅調であるほか、調剤部門の持ち直しや新規出店効果もあり、増加している。百貨店販売は、入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。家電大型専門店販売は、テレビなどが堅調であるものの、全体では弱い動きがみられる。ホームセンター販売は、園芸用品やアウトドア関連を中心に堅調となっている。乗用車販売は、供給面の影響により弱含んでいる。旅行取扱高は、国内の一部に動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

(主なヒアリング結果)

- 9月中旬あたりから徐々に感染者数が減少傾向になり、入店客数が戻ってきている印象。(百貨店、大企業)
- テレビはエコポイント・地デジ移行時の買い替え需要により、洗濯機もドラム式の商品等が好調であるが、今後、巣ごもり需要が剥落すれば、家電販売の拡大は見込めない可能性が高い。(家電、大企業)
- 完成車メーカーの減産により、納車が遅れることから、販売台数は大きく落ち込む見通し。(乗用車、中小企業)
- 8月にまん延防止等重点措置が適用されて以降、キャンセルが増加したほか、遠方への旅行の取り扱いが減少した。足下では、県独自の観光需要喚起施策が実施されており期待している。(旅行、大企業)
- 酒類提供が緩和された影響は大きいですが、宴会需要は依然としてほとんどなく、元通りの売上になるまでまだ時間はかかりそう。(飲食サービス、大企業)

■ 生産活動 「足下で自動車関連を中心に減少しており、回復の動きに一服感がみられる」

自動車関連は、感染症によるサプライチェーンの問題などから、足下で減少している。オートバイは、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。航空機体部品は、海外航空機メーカーが大幅に減産したことから、悪化している。金属工作機械は、国内外受注ともに増加していることから、生産は着実に持ち直している。半導体集積回路は、増加している。液晶は、弱い動きとなっている。プラグは、横ばいとなっている。開閉機器は、弱含んでいる。電動機は、回復の動きに一服感がみられる。普通鋼、特殊鋼ともに、高水準で推移している。

- 海外での感染拡大による部品メーカーの工場稼働停止に伴い調達が困難となっていることや、引き続き、半導体の調達が困難な状況が続いていることから、生産計画の見直しが必要となり、工場の稼働調整を行っている。(輸送機械、大企業)
- 足下では、完成車メーカーの減産により受注が落ち込んでいることから、残業の取りやめや生産ラインの稼働の休止を行っている。(電気機械、大企業)
- 半導体製造装置向けを中心に国内外の受注が増加している。今年度下期の生産は高水準となることを見込んでおり、足下では残業時間が増加している。(生産用機械、大企業)
- スマートフォン向けを中心に受注が増加していることから、生産はフル稼働となっている。需要の増加に伴い、需給バランスが改善している。(電子部品・デバイス、大企業)
- 足下では、完成車メーカーの減産により受注が弱含んでいるものの、今後の生産増加に備えて在庫を積み増すため、生産はフル稼働が続いている。(鉄鋼、大企業)

■ 雇用情勢 「一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている」

輸送用機械などで引き続き求人が緩やかに増加していることから、有効求人倍率は緩やかに上昇しているものの、全体では弱い動きが続いている。なお、完全失業率は低水準である。

- 今後の生産レベル上昇に向けて、期間工や派遣従業員などを募集して、増強体制に取り組んでいる。(輸送用機械、大企業)
- 自動車向けの金属を扱う企業のほか、自動車の内装部品の製造を行う企業からの求人がでてきている。(労働局)
- 飲食サービス業では、自治体からの時短要請に応じて営業を継続できる大手外食チェーンからの求人がほとんどで、小規模事業者からの求人は少ない。(労働局)
- 緊急事態宣言の発令により来店客数が減少しており、各フロアの従業員数が過剰となっている状況がみられる。(小売、中小企業)
- 8月に緊急事態宣言が発令されて以降、すべての店舗で臨時休業したため、雇用調整助成金を活用しながら従業員を休業させた。(旅行、中堅企業)

■ **設備投資** 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 製造業では、情報通信機器などが減少となるものの、輸送用機械や電気機械などが増加となることから、増加見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸などが増加となることから、増加見込みとなっている。

➤ 感染症による先行き不透明感はあるものの、継続的な需要の高まりが見込まれる半導体関連等の分野への投資は積極的に行っていく。(電気機械、大企業)

■ **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 製造業では、電気機械などが減益となるものの、輸送用機械や窯業・土石などが増益となることから、増益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが減益となるものの、運輸が黒字となることやサービス業などが増益となることから、増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 景況判断BSIでみると、全産業の現状判断は、輸送用機械が「上昇」超に転じたことや、サービスや卸・小売の「下降」超幅が縮小したことなどから、「下降」超幅が縮小している。また、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「緩やかに持ち直しつつある」

- 分譲住宅、持家、貸家が前年を上回っていることなどから、緩やかに持ち直しつつある。

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、県は増加しているものの、市町村、独立行政法人等が減少していることなどから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「増加の動きに一服感がみられる」

- 輸出(円ベース)は、自動車を中心に増加の動きに一服感がみられる。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

■ **企業倒産** 「件数は前年を下回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(3年7月判断)	今回(3年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
愛知県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、回復に向けた動きに一服感がみられる	↓	個人消費は、食料品などが堅調であるものの、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるため、横ばいの状況となっている。生産活動は、海外での感染拡大の影響等により、自動車関連を中心に足下で減少しており、回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、弱い動きが続いている。
静岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、持ち直しの動きに一服感がみられる	↓	個人消費は、感染症の影響により、観光地への入込及び宿泊客数が弱含んでおり、横ばいの状況にある。生産活動は、自動車関連等において半導体不足等の影響により、足下で減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、弱い動きが続いている。
岐阜県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況があるとともに、持ち直しの動きに一服感がみられる	↓	個人消費は、感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、回復に向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている。
三重県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で厳しさが増したことから、持ち直しのテンポが緩やかになっている	↓	個人消費は、感染症の影響等により、おおむね横ばいとなっている。生産活動は、自動車関連に弱い動きがみられることから、全体では持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、弱い動きが続いている。